

# TOSHIBA

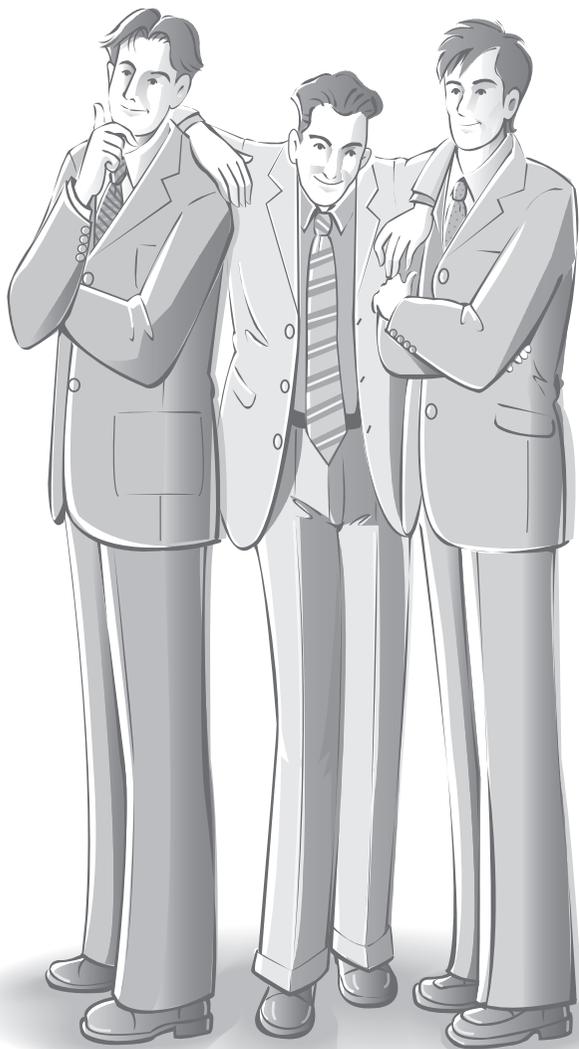
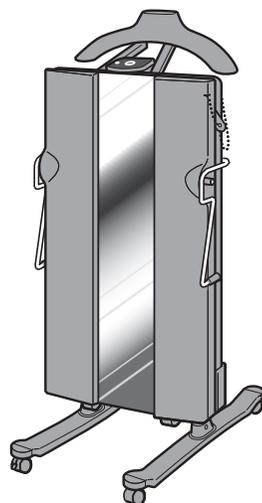
Leading Innovation >>>

東芝ズボンプレスナー (家庭用)

## 取扱説明書

形名

# HIP-T50



## もくじ

安全上のご注意	2
各部のなまえ	3
脚の取り付けかた	3
ハンガーの取り付けかた	3
使いかた	4～5
お願い	6
仕様	6
修理サービスを依頼するまえに	6
保証とアフターサービス	7
保証書	裏表紙

日本国内専用  
Use only in Japan

## 保証書付

保証書はこの取扱説明書の裏表紙に付いていますので、お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめください。

- このたびは東芝ズボンプレスナーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してください。
- お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。

# 安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産の損害を防ぐために、お守りいただくことを説明しています。「表示の説明」は、誤った取り扱いをしたときに生じる危害、損害の程度の区分を説明し、「図記号の説明」は図記号の意味を示しています。

## 表示の説明

**警告** 「死亡または重傷を負う可能性がある内容」を示します。

**注意** 「軽傷を負うことや、家屋・家財などの損害が発生する可能性がある内容」を示します。

## 図記号の説明

 中の絵と近くの文で、してはいけないこと（禁止）を示します。

 中の絵と近くの文で、しなければならないこと（指示）を示します。

 中の絵と近くの文で、注意を促す内容を示します。

## 警告

**異常・故障時にはすぐに使用を中止する**  
 ・発煙・発火・感電の原因になります。  
**指示** すぐに電源プラグを抜いて、販売店へ点検・修理を依頼してください。

### 《異常・故障の例》

- 本体が異常に熱い。
- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- スイッチランプが点灯中、電源コードを動かすと点滅する。
- こげくさい“におい”がする。

## 電源プラグ・コードは

**電源は交流100Vで定格15A以上の専用コンセントを使う**  
 交流100V以外を使うと、火災・感電の原因になります。

- 禁止**
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしない また、重いものを載せたり、はさみ込んだりしない
  - 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
  - むれた手で電源プラグを抜き差ししない  
 感電・ショート・発火の原因になります。

## 分解・修理・改造はしない

**分解禁止**  
 火災・感電・けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店または、東芝生活家電ご相談センターにご相談ください。

## 注意

## 電源プラグ・コードは

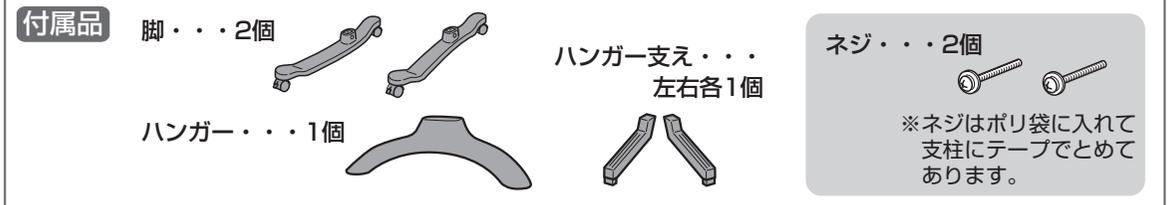
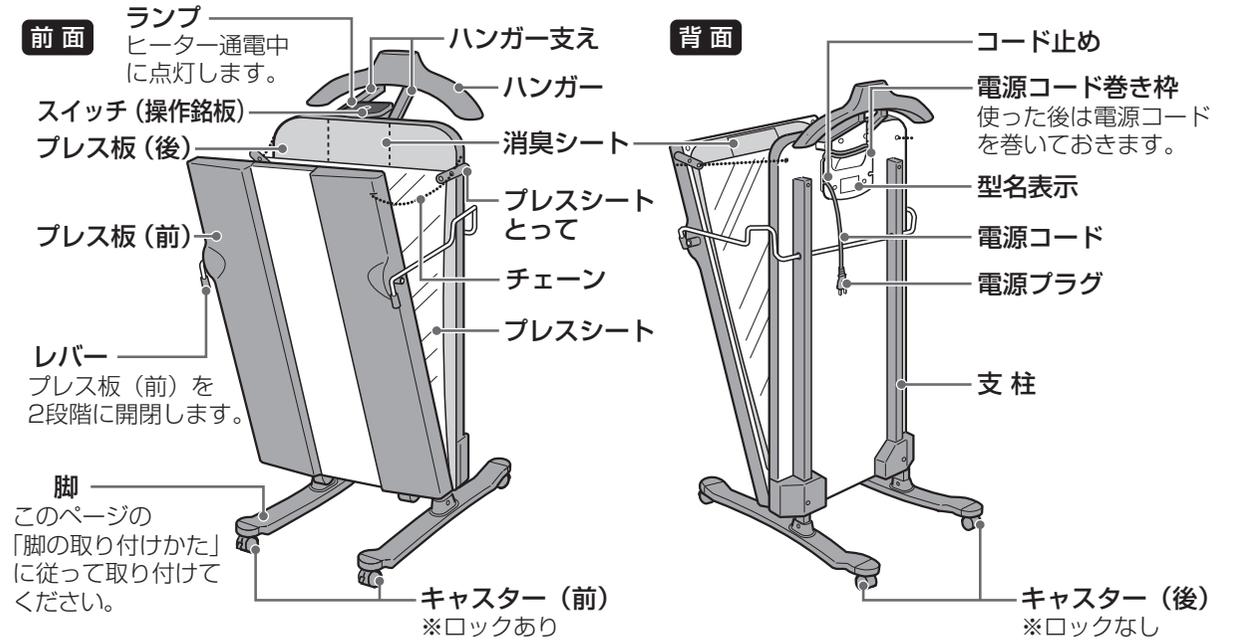
**プラグをコンセントから抜く**  
 ● 使用していないときは、電源プラグをコンセントから抜く  
 けが・やけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

**プラグを持って引き抜く**  
 ● 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く  
 感電・ショート・発火の原因になります。

## ご使用・取り扱いについて

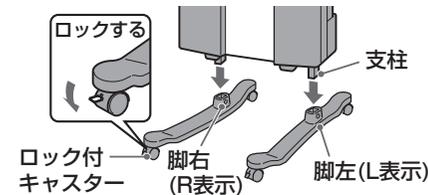
- 禁止**
- プレス板（前）を開けたまま通電しない
  - 布団や毛布でくるまない  
 部分過熱して発火することがあります。
  - こんろやストーブの近くで使わない  
 過熱して発火することがあります。
  - ハンガーに無理な力を加えたり、ハンガーを持って製品を移動しない  
 けがのおそれがあります。ハンガーは上着掛け専用としてお使いください。

# 各部のなまえ

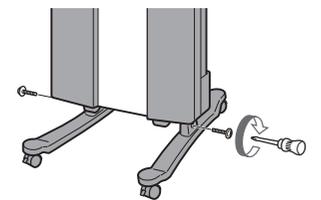


## 脚の取り付けかた ● プラスドライバーをご用意ください。

- 1 ロック付のキャスターを前側にして左右に支柱に差し込み、立てた状態にしてネジ穴位置が合うまで押し込む
- 2 ネジをプラスドライバーで外側からしっかり締め付ける



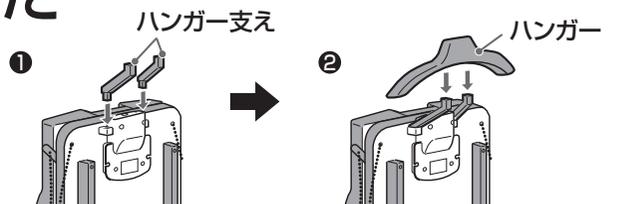
- 脚を取り付けるときは、キャスター（前）をロックしてください。ロックしないと本体が移動するおそれがあります。
- 脚のネジ穴は外側になります。ネジ穴が内側にあるときは左右が反対です、ネジ穴を外側にして組み立ててください。



- ネジをネジ穴に合わせてまっすぐに締めてください。斜めに締めると、ネジ山がつぶれます。
- 脚には重いものを載せたり、お子様が乗ったりしないように注意してください。

## ハンガーの取り付けかた

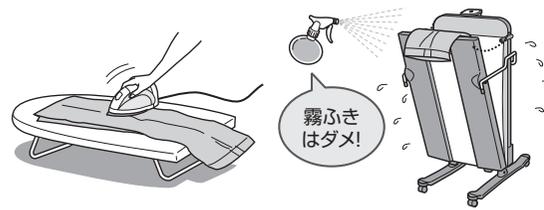
- 1 本体後部の穴にハンガー支えを差し込む  
 ※ハンガー支えは左右別の部品です。  
 右図の形になるように差し込んでください。
- 2 ハンガーをハンガー支えに差し込む



# 使いかた

## お使いになる前に

- ズボンに折り目がほとんどない場合は、シワがよりやすいので最初だけアイロンで軽くおさえて折り目を付けてください。
- ズボンに霧ふきはしないでください。
- ぬれたり、汗ばんだりしたズボンは乾かしてからセットしてください。



- 薄手のズボンで特に繊維の細いものや裏地付きのものは、縫製部とズボンの足部の厚さの違いによって、部分的に小ジワが生じる場合があります。そのときは、アイロンで小ジワを取り除いてください。(他の方法では小ジワは取れない場合があります。)
- 一度お使いになると、プレスシートが波状になる場合がありますが、仕上がりへの影響はありません。

## 1 プレス板（前）を開ける

- ①レバーを上げてプレス板（前）を開きます。
- ②プレスシートを奥側に寄せます。

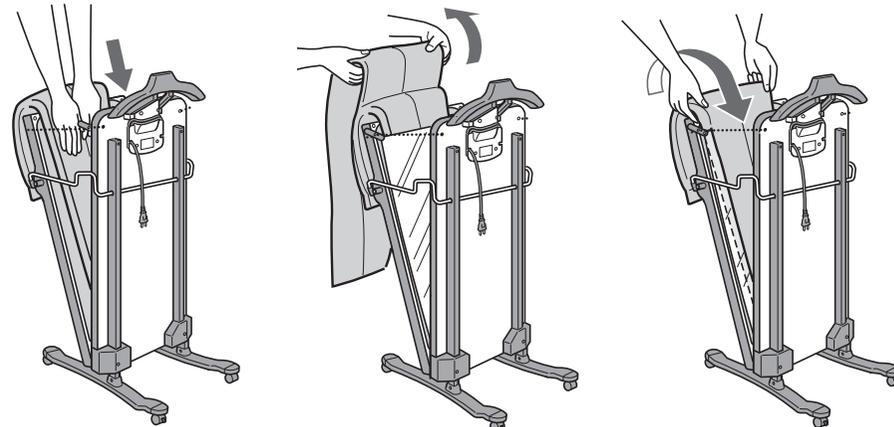


- レバーとプレス板（前）の間に手をはさまないように注意してください。

## 2 プレスシートをはさむようにズボンをセットする

ポケットに入っているものを出し、ファスナー・ボタンをはずします。

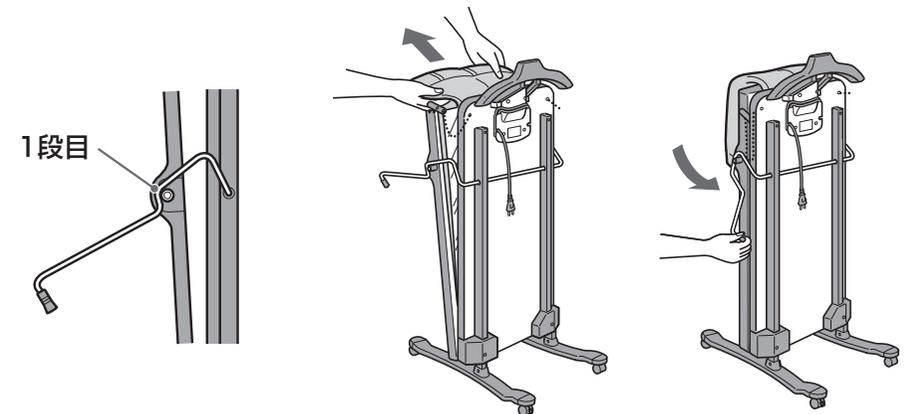
- 1.ズボンをプレス板（前）にセットし、すそ部を下方までおろし、ズボンのたるみを整えます。
- 2.ズボンの片方を持ち上げてから、プレスシートをズボン側に寄せます。
- 3.持ち上げたズボンをプレスシートをはさむようにおろし、再度ズボンのたるみを整えます。



- 二重線防止のため、プレスシートはズボンの股の間に必ずはさんでください。
- ズボンは、プレス板（前）の中央部にセットしてください。

## 3 プレス板（前）を閉じる

- 1.レバーをおろし、1段目の位置までプレス板（前）を閉じます。
- 2.ズボンを上に引いて、たるみを取ります。
- 3.レバーを下までしっかりと押してプレス板（前）を閉じます。



- 仕上りをよくするために、プレス板を閉じた後もう一度ズボンを上に引いて、たるみを取ってください。

## 4 電源プラグをコンセントに差し込む

ランプが点灯した場合は、そのままプレスを開始します。  
※ランプが点灯しない場合は、ランプが点灯するまでスイッチを押し込んでプレスを開始してください。



- 電源コードは、電源コード巻き枠からはずしてください。
- 途中でプレスを中止するときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

## 5 プレス完了（目安時間 10～15分）

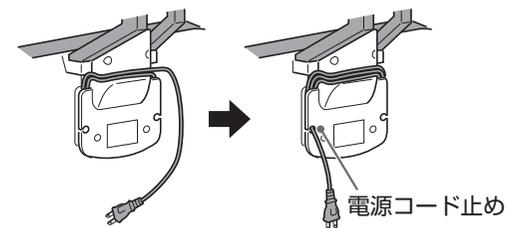
プレスが完了するとランプが消えます。



- プレス時間は季節や周囲温度によって異なる場合があります。
- プレス後は冷めるまで（約10分）そのままにしてください。仕上がりが一層よくなります。
- 使った後は電源プラグをコンセントから抜いてください。

## 6 電源コードを収納する

電源コードを電源コード巻き枠に巻いて、電源コードの巻き終わりを電源コード止めに入れてください。



- 電源コードは軽く巻いてください。強く巻き付けると電源コードが断線するおそれがあります。
- プレス完了後、プレス板の内側は温かくなっています。また、本体裏面も温かくなりますが異常ではありません。

### 続けてプレスする場合は

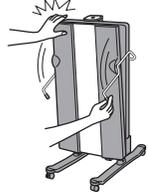
プレス完了後、本体が冷めるまでプレス板（前）を開いた状態で約20分間お待ちください。

※冷めていない場合、スイッチを押してランプが点灯しても、すぐにランプが消え、プレスが十分にできません。

# お願い

レバー操作中にレバー部やプレス板（前／後）の間に指を入れないでください

指をはさむと、けがをします。おそれがあります。特にお子様にはご注意ください。



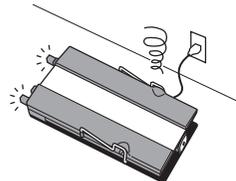
使うときは電源コードを電源コード巻き枠からはずしてください

電源コードを巻き付けたままで使うと、電源コードが過熱して故障の原因になります。



脚を取り付けた状態で使ってください

脚をはずしたままで使うと、故障の原因になります。



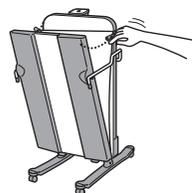
移動するときはキャスター（前）のロックを解除して、ゆっくり、静かに移動してください

キャスターをロックしたままの移動や、勢いよく移動したり強い力で移動したりすると、床、たたみ、じゅうたん、フローリングなどに傷を付ける原因になります。

また、同じ場所でズボンプレッサーの移動を繰り返すと、キャスターの動いた跡が目立つようになります。特に、毛足の長いじゅうたんではご注意ください。

プレスシートを無理に引っ張らないでください

変形・破損の原因になります。



業務用として使わないでください

過負荷による故障の原因になります。

# 仕様

定 格	AC100V 280W 50-60Hz 共用
大 き さ	高さ 約1065mm 幅 約485mm 奥行 約515mm
質 量	約 10.0kg
温 度 ヒ ュ ー ズ	動作温度 99℃
電 源 コ ー ド	ビニルコード 1.9m

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。  
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.  
No servicing is available outside of Japan.

## ■ 抗菌の効果

試験機関	(財) 日本食品分析センター
試験方法	JIS Z 2801:2000
抗菌の方法	樹脂に添加
抗菌加工処理を行っている部品の名称	プレス部（プレスシートとって）、操作銘板

# 修理サービスを依頼するまえに

ご使用中にプレス板（後）が温まらないときは、以下の点をお調べください。

- 電源プラグはコンセントからはずれていませんか？ → 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- ランプは点灯していますか？ → ランプが点灯するまでスイッチを押し込んでください。続けてお使いになるときは、プレス板（前）を開いて約 20 分間本体を冷やしてください。

# 保証とアフターサービス

必ずお読みください

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

## 東芝生活家電ご相談センター

フリーダイヤル  
**0120-1048-76**  
受付時間：365日 9:00～20:00  
携帯電話・PHSなど **022-774-5402**（通話料：有料）  
FAX **022-224-6801**（通話料：有料）

- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

## 保証書（一体）

- 保証書は、この取扱説明書の裏表紙に記載されています。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げの日から 1 年間です。

## 補修用性能部品の保有期間

- ズボンプレッサーの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 6 年です。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

## 部品について

- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

## 修理を依頼されるときは

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。

### ■ 保証期間中は

保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

### ■ 保証期間が過ぎているときは

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望によって有料で修理させていただきます。

## 持込修理

### ■ 修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

便利メモ	お買い上げ日	年 月 日
	お買い上げ店名	電話 ( )



愛情点検

## ● 長年ご使用のズボンプレッサーの点検をぜひ！

このような症状はありませんか。

- 本体が異常に熱い。
- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- スイッチランプが点灯中、電源コードを動かすと点滅する。
- こげくさい“におい”がする。
- その他の異常・故障がある。

ご使用中 止

故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。ご自分での修理は危険です。絶対に分解しないでください。

